



Y防協 事務局

2013年(平成25年)から、大阪本社管内の防犯イベントなどの実施に向け、この仕事に携わるようになった。

まだ経験は浅いが、持ち前の好奇心を発揮し、防犯業務に取り組んでいる。案外知っているようで、実は知らない事ばかりの連続に、目を丸くすることも。今は、同僚の池田参与の一つひとつ仕事を教えてもらっている。

趣味は浅く広くがモットー。野球、テニス、ボウリング、ダイビング、フットサルなど、体を動かす事なら何でも挑戦してきた。一方、最近ガーデニングも趣味の一つに変わった。土いじりは日頃の疲れを癒やしてくれると言い、年齢を積み重ねることは、人に落ち着きを取り戻させる時間を積み重ねることだと実感している。そんなとても心優しい「おっちゃん」は、「お酒をこよなく愛する57歳の、どこにでもいる「おっちゃん」」なのだ。

「これからも地域貢献をYCとともに果たしたい」と、メガネの奥のやさしいまなざしが語っていた。

**西矢 常夫**

社員(大阪)

Y防協の事務局関係者では、最も年齢が若い。PC操作やその知識など、事務局関係者の中では一二を争うほど詳しい社員と言えそう(ホントは争える人は誰もいませんが)。

新時代のY防協は彼が担うことになることを事務局の誰もが信じて疑わない。最近の若手では、非の打ちどころがないほどの好青年なのだが、唯一気になるのが、若さに似合わないメタボ体形であること。

今後は、人一倍健康に注意して業務に励むことが「彼の第一の務め」であると、先輩たちは口をそろえている。

**藤井 吉夫**

社員(西部)

いつもにこやかな菊地さん。とても清楚な美人です。

ぶっきら棒な事務局の男性陣を陰で支えると同時に、ホームページへの掲載要望も、ホームページビルダーを鮮やかに使いこなし、しとやかに仕上げた才媛です。

旦那様のご実家は、都営大江戸線麻布十番駅近くの有名な和菓子の老舗だそうです。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください(店名:京あづま)。

**菊地 祐子**

事務局員(東京)

大阪府警で培った経験を生かし、地域住民といかに密接な関係を作って、安全・安心な街づくりができるかを実に綿密に考えている人。防犯セミナーでは、趣味の手品を用いて参加者の興味を引きつけたり、防犯リーフレットを手自ら参加者に講演することもある情熱の人でもあります。彼の並々ならぬ正義感、犯罪の防止・抑止、安全・安心な街づくりを目指すY防協の大きな戦力。2013年(平成25年)から、新入学する小学生を対象とした「防犯ぬり絵」「交通安全ぬり絵」の制作と贈呈、それらを使った「ぬり絵コンクール」を定着させるため、YCや警察署など、現場を駆け回る日々を送っています。

**池田 純**

参与(大阪)

「縁の下の力持ちは誰」と言われれば、間違いなくこの御仁、「瓜生真一」です。Y防協と西部本社管内の警察署や行政機関との連携、防犯イベントの実施など、その縦横無尽な活躍の様子を列挙したら、枚挙に暇がないくらいだ。心優しい九州男児は、今日もY防協活動の知恵を絞り、地域の独自性、独創性を生かした防犯活動に汗を流している。

**瓜生 真一**

社員(西部)